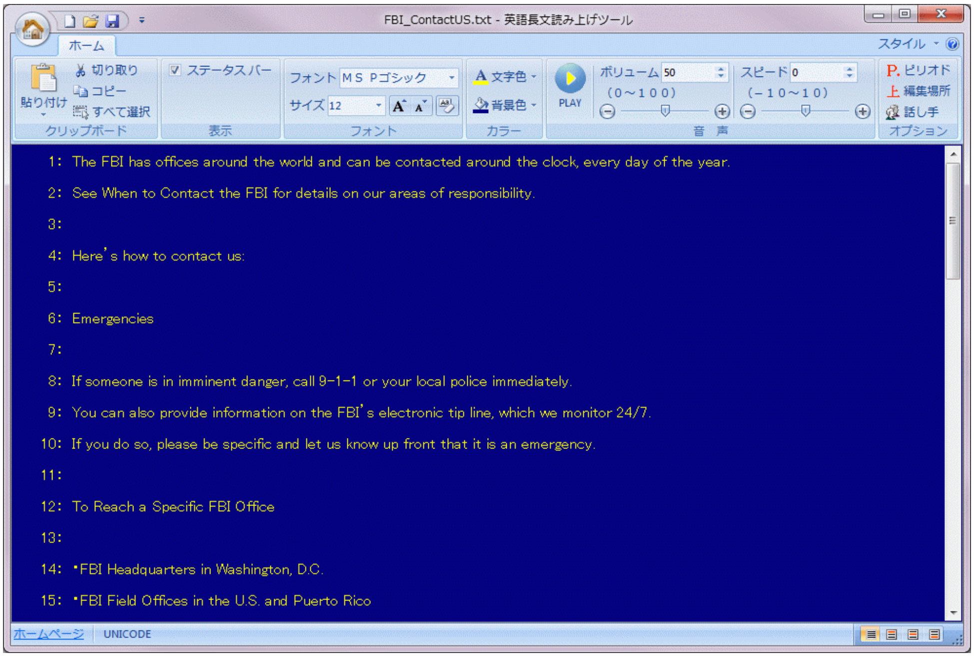
英語長文読み上げツール マニュアル

Ver. 0.98（試作品）



[もくじ]

1　必要なシステムの概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

2　ツールの特徴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

3　インストール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

4　アンインストール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

5　起動と終了
5-1　起動画面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
5-2　終了方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

6　画面の説明
6-1　メイン画面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

7　英語文章の読み込み・書き込み
7-1　読み込み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
7-2　読み込みデータの注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
7-3　書き込み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
7-4　書き込みデータの注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

8　動作の説明
8-1　行選択 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
8-2　行選択解除 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
8-3　貼り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
8-4　切り取り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
8-5　コピー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
8-6　全て選択 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
8-7　ファイルのドロップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
8-8　行編集 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

9　おしゃべり
9-1　仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
9-2　おしゃべりのさせ方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
9-3　おしゃべりの開始 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
9-4　おしゃべりの停止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
9-5　おしゃべりの一時停止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
9-6　おしゃべりの画面表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

10　オプション
10-1　ピリオド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
10-2　編集場所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
10-3　話し手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

11　ライセンス認証（EnglishSpeech 本体）
11-1 認証方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
11-2 使用期限切れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
11-3 ライセンス購入方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

12　備考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

1. 必要なシステムの概要

パソコン	1台
OS	Windows 8/ 7/ Vista/ XP （Vista 以降推奨）
画面の解像度	1024 × 768 以上
ライセンス	パソコン1台につき1本
対象年齢	6歳 ～

2. ツールの特徴

テキストベースの英語の文章を1行毎に分けて表示し、順に音読するソフトです。

・ 英語の文章を順次読み上げることができます。

・ 読み上げる音声の「ボリューム」「スピード」を手軽に調節できます。

・ 表示する英語文章の文字の「フォント」「サイズ」「色」、および「背景色」が変更可能です。

・ 読み上げる英語文章は“ファイルの読み込み”や“コピー＆ペースト”で可能です。

・ 英語文章の編集及びファイルへの保存が可能です。

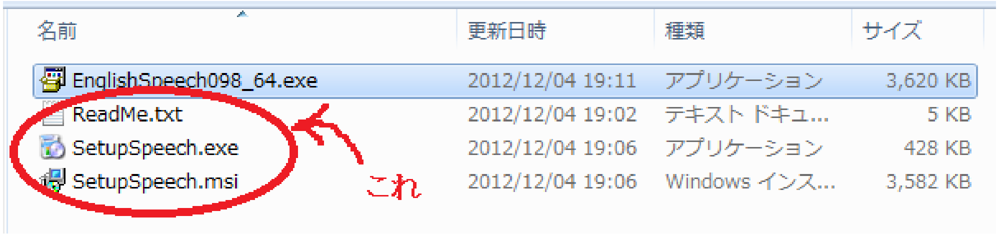
・ 英語文章の話し手を変更することが可能です。

3. インストール

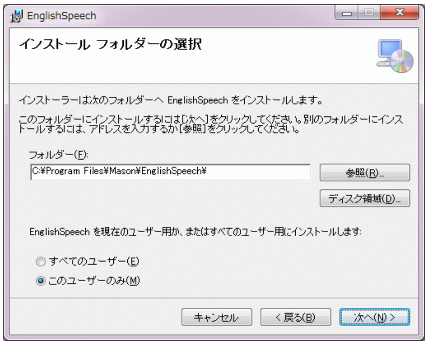
　このアプリケーションには32ビット版と64ビット版があります。32ビット版は全てのOSにインストールできますが、64ビット版はOSが64ビットでないといけません。
　また、OSが64ビットであれば、このアプリケーションは64ビット版と32ビット版の両方とも、片方をアンインストールすること無くインストールすることができます。
（このマニュアルでは代表して 64ビットのWindows 7 上の64ビット版のアプリで説明します。）

① ファイルを解凍してください。

② SetupSpeech.exe と SetupSpeech.msi、ReadMe.txt の3個のファイルが
　解凍されてできます。



③ SetupSpeech.exe の方をダブルクリックしてインストールを進めてください。
　インストール先は好きな場所を選択して下さい。

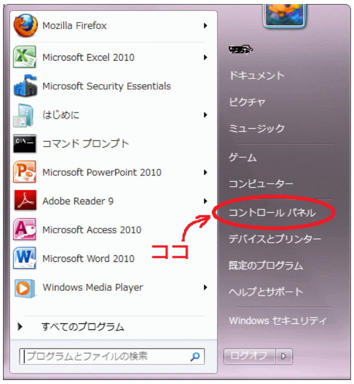


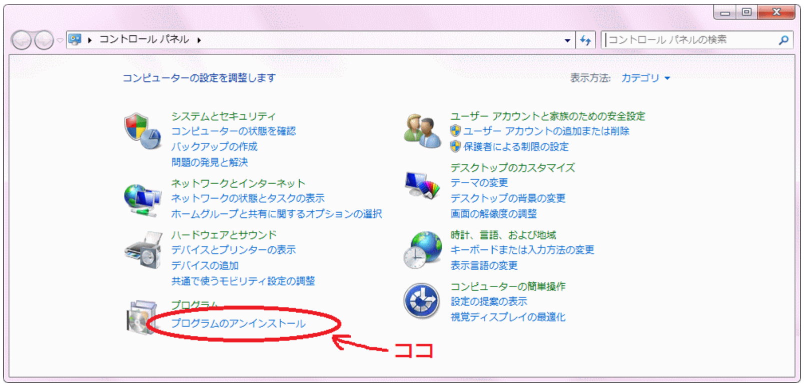
④ デスクトップとメニュー画面に以下の“うさ耳”のアイコンが作成されインストールが
　終了します。

⑤ インストール後は①,②の ReadMe.txt 以外の3個のファイルは必要ないので、
　削除してもかまいません。

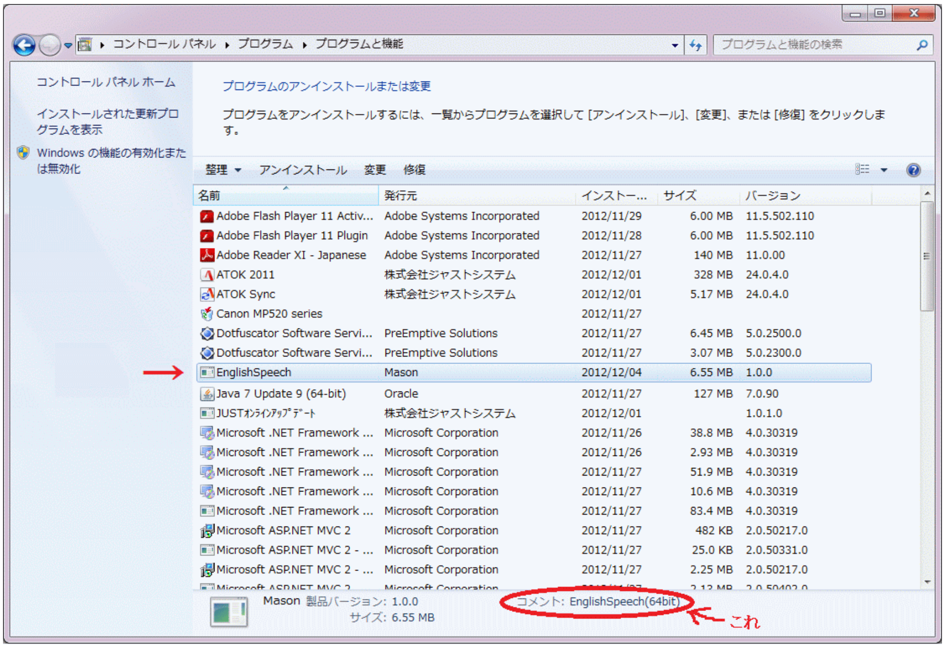
4. アンインストール

① [スタート]-[コントロールパネル] より “プログラムのアンインストール”
　を選択して下さい。





② “EnglishSpeech” を選択してアンインストールして下さい。
右下のコメント欄に選択したアプリが32ビット版なのか64ビット版なのかが表示されます。
3章で述べたように、64ビット版、32ビット版の両方がインストール可能で、その時には、
この一覧に2個の“EnglishSpeech”が表示されます。

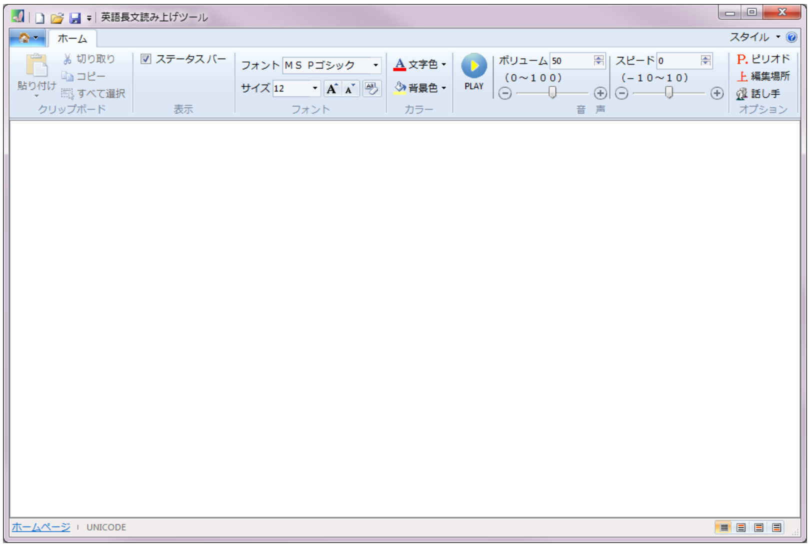


注意：画面は環境により変わります。

5. 起動と終了

5-1　起動画面

① 一番最初の起動画面は次のようになります。



② 右上にある"スタイル"より以下のリボンに変更することが出来ます。

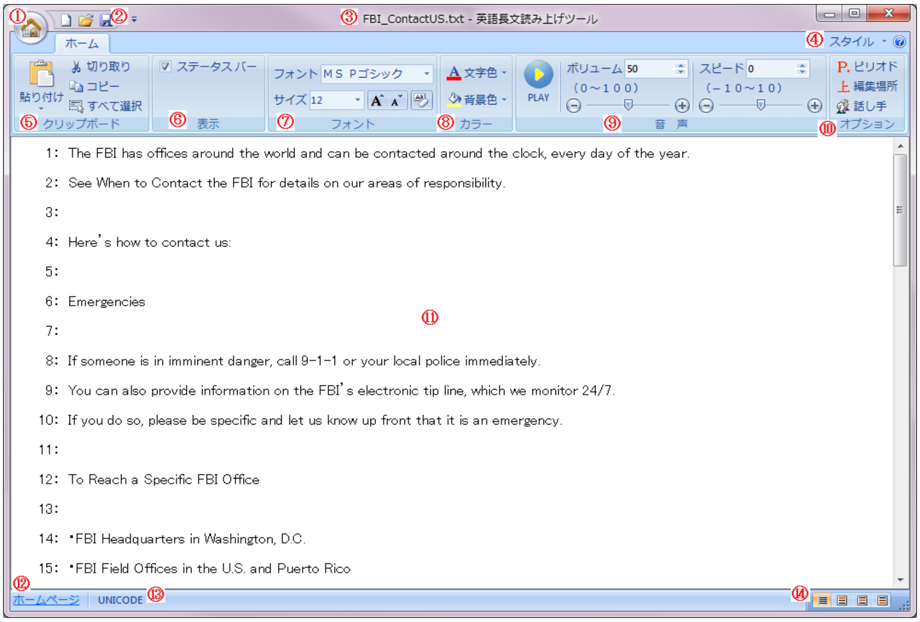
5-2　終了方法

次のいずれかで終了して下さい。

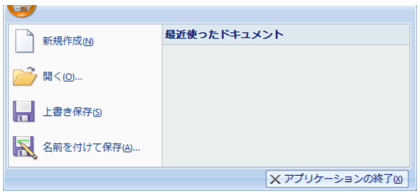
- リボン左上の"家のマーク"-[アプリケーションの終了]を選択
- 右上の「×」マークをクリックする
- 左上の"うさ耳マーク"をクリックして「閉じる」を選択
- "Alt+F4"キーを押す。

６．画面の説明

6-1　メイン画面



① アプリケーションボタン



新規作成　…　データ読み込み時であってもデータを初期化し、起動直後の状態にします。

開く　…　ファイル読み込みのダイアログが開いて、英語文章データのファイルを読み込み選択できるようになります

上書き保存　…　現在保持しているデータに名前が関連付けられている場合はその名前でいきなりファイル保存されます。関連付けられていない場合は、ファイル保存のためのダイアログが開いてフォルダ・ファイル名を指定します。

名前を付けて保存　…　ファイル保存のためのダイアログが開いてフォルダ・ファイル名を指定できます。

最近使ったドキュメント　…　直近の過去に読み込んだ、又は保存した5個のファイル名を表示します。

② クイックアクセスツールバー

1ボタンでアクションできるようにするボタンです。標準で「新規作成」「開く」「上書き保存」が表示されています。ボタンは追加・削除することも可能です。

③ ツールバー

「現在保持している英語文章データのファイル名」と「このアプリケーションの名前」を表示します。ファイル名は関連付けされていない場合は表示されません。（起動時は空欄です。）

④ スタイル変更コンボボックス

リボンの表示形式が選択できます。（５－１参照。）

⑤　クリップボードパネル
貼り付け　…　貼り付け可能なデータをクリップボードに保持していた場合、押下時に⑪番のデータ表示部に貼り付けされます。詳しくは7－3参照。
切り取り　…　⑪番のデータ部にデータが表示されており、1行以上選択されていた場合選択されていた全行のデータをクリップボードに移動します。
コピー　　…　⑪番のデータ部にデータが表示されており、1行以上選択されていた場合選択されていた全行のデータをクリップボードにコピーします。
全て選択　…　⑪番に表示されている英語文章データを全て選択します。

⑥　表示パネル
ステータスバー　…　画面下のステータスバーの表示・非表示を指定します。

⑦　フォントパネル
フォント　…　⑪番で表示する英語文章のフォントを選択します。
サイズ　…　⑪番で表示する英語文章の文字の大きさを選択します。
サイズ「大」　…　⑪番で表示する英語文章の文字の大きさを押下毎に1ポイント大きくします。
サイズ「小」　…　⑪番で表示する英語文章の文字の大きさを押下毎に1ポイント小さくします。
フォントの初期化　…　起動時のフォントの状態に一気に戻します。

⑧　カラーパネル
文字色　…　⑪番で表示する英語文章の文字色を選択できます。
背景色　…　⑪番で表示する英語文章の背景色を選択できます。

⑨　音声パネル
PLAY　…　選択されている英語文章の読み上げの「スタート」「ストップ」「ポーズ」のアクションを起こします。
ボリューム　…　英語文章読み上げのボリュームを調節します。（0～100）
スピード　…　英語文章読み上げのスピードを調節します。（－10～10）

⑩　オプションパネル
ピリオド　…　１文終了と判断させないピリオドの登録・参照を行います。
編集場所　…　⑪番で表示している英語文章を1行ずつ編集する場合の場所を選択します。
話し手　…　英語文章をしゃべらせる人を指定します。

⑪　英語文章を1文ずつ表示します。1文は最大2行表示可能です。

⑫　ホームページを表示します。

⑬　読み込んだデータが“Unicode(UTF-16)”の場合は「UNICODE」、
“Ascii”の場合は「ASCII (S-JIS)」と表示されます。
また、データをファイルに保存する場合は、ここに表示されている形式で保存します。

⑭　⑪番で表示するタイプを選択します。

左から…
一番目　…　自由な場所が表示可能の状態となります。（初期状態）
二番目　…　先頭行を表示した後、自由な場所が表示可能の状態に切り替わります。
三番目　…　読み上げる英語文章の行を常に中央に表示する状態となります。
四番目　…　最終行を表示した後、自由な場所が表示可能の状態に切り替わります。

7. 英語文章の読み込み・書き込み

7-1 読み込み

メイン画面に英語文章を表示させるには次の方法があります。
① ファイルより読み込む。（6－1の①番参照。）
② エクスプローラーよりファイルをドラッグして読み込む。（8－7参照。）
③ クリップボード経由でコピー＆ペーストする。（8－3参照。）

7-2 読み込みデータの注意事項

取り扱うデータは英語の文章を想定しているので、他言語のデータ、及び意味不明なデータを読み込み・貼り付けようとした場合は、アプリケーション自身が誤動作する可能性があります。
また、ファイル名の拡張子は“.txt”以外はエラーとなって読み込めません。
さらに、データ形式は、Unicode(UTF-16)もしくはAscii(S-JIS)でないといけません。
（拡張子が“.txt”ならば、大抵はそのようになっているので、気にする必要はありません。）

7-3 書き込み

メイン画面に表示されている英語文章を保存するには次の方法があります。
① アプリケーションボタンより、「上書き保存」又は「名前を付けて保存」より行う。
（6－1の①番参照。）
② クイックアクセスツールバーより行う。（6－1の②番参照。）
③ ショートカットキーで行う。“Ctrl+S”で上書き保存にセットしてあります。

また、メイン画面に表示していた英文が編集されている状態で、新規の英文をメイン画面に表示させようとアクションを起こした場合、編集された英文の保存処理が問われます。

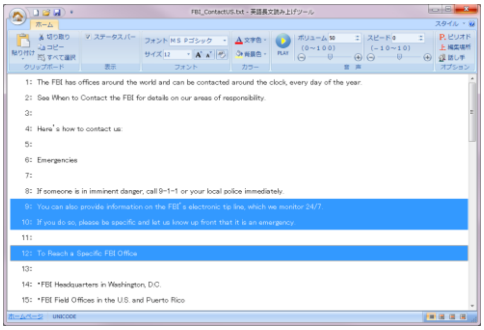
7-4 書き込みデータの注意事項

データ形式（UnicodeかAscii）は自由に選択できません。初期状態ではUnicodeにセットされています。（6－1の⑬番参照。）
裏技：強制的にAscii形式で保存したい場合は、Ascii形式のファイルを読み込み、「新規作成」をして英文データを全て消去する。
その後、コピー＆ペーストにてデータを表示させる。その後保存。

メイン画面の英語文章は1文毎に表示されますが、保存時は大まかに言うと以下の法則でまとめられます。
① 行間が続いていると段落が終わっていない。
② 行間が空いていると段落が終わった。
③ ピリオドで終わらない文章は表題と見なし、行間に関係なくその行のみ。

8. 動作の説明

8-1　行選択



・選択は行単位です。

・選択された行は、青色の帯となります。
（右図では9、10、12行目が選択されています。）

・起動時及びデータ読み込み時は
行が選択されていない状態です。
（正確には0行目が選択されている。）

・どの行も選択されていない場合、キーボードで「↓」キーを押すと上段から
選択の帯が出現します。

・マウスで行をクリックすると、その行が選択された状態になります。

・“Shift”キーを押しながらマウスでクリックすると、最初に選択した行からその行までの
連続した行全てが選択行となります。

・“Ctrl”キーを押しながらマウスでクリックすると、クリック毎の行が選択の行となります。

8-2　行選択解除

方法 ①
クリップボードパネル内の「全て選択」のボタンを2回押して下さい。

方法 ②
マウスを右クリックして、出現したポップアップメニューより「全て選択」を選択する。
コレを2回繰り返す。（方法①と動作は同じです。）

方法 ③
“Ctrl”キーを押しながら“A”ボタンを2回押す。

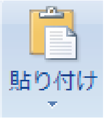
注意：いずれの方法も、点線である行が残り、選択されているように見えますが、
選択されているわけではありません。

ちなみに…
・キーボードの「↑」や「↓」で操作しても、青色の帯は消えません。
・マウスでも選択行を消すことはできません。
・マウスで行をダブルクリックすると、別の動作になります。（8－8参照。）

8-3 貼り付け

クリップボードに貼り付け可能なデータを保持していない時は、「貼り付け」ボタンは薄くなっており、動作しないようになっています。

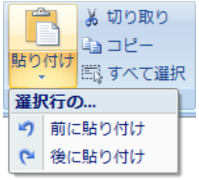
仕様：おしゃべり中はボタンが薄くなって機能しないようになっています。



貼り付け可なデータを保持

貼り付け不可能なデータを保持

プルダウンメニューより、[前に貼り付け]や[後に貼り付け]も可能です。



注意：取り扱うデータは英語の文章を想定しているので、他言語のデータ、及び意味不明なデータを貼り付けようとした場合は、アプリケーション自身が誤動作する可能性があります。

・貼り付ける前のメイン画面の状態

状態 ① … 1行も英文が表示されていない場合。
状態 ② … 英文が表示されているが、選択行が無い場合。
状態 ③ … 英文が表示されており、選択行が1行の場合。
状態 ④ … 英文が表示されており、選択行が連続した1群の場合。
状態 ⑤ … 英文が表示されており、選択行が連続していない場合。

・[貼り付け]の結果

結果 ① … クリップボードに保持している英文を全て貼り付けます。
結果 ② … メイン画面に表示している最後の行から、順に英文が追加されます。
結果 ③ … 1行の選択行は削除され、貼り付けられる複数行の英文に変わります。
結果 ④ … 1群の選択行は削除され、貼り付けられる複数行の英文に変わります。
結果 ⑤ … エラーとなります。

・[貼り付け]-[前に貼り付け]の結果

結果 ① … エラーとなります。
結果 ② … エラーとなります。
結果 ③ … 選択行の直前に、英文が複数行挿入されます。
結果 ④ … エラーとなります。
結果 ⑤ … エラーとなります。

・[貼り付け]-[後に貼り付け]の結果

結果 ① … エラーとなります。
結果 ② … エラーとなります。
結果 ③ … 選択行の直後に、英文が複数行挿入されます。
結果 ④ … エラーとなります。
結果 ⑤ … エラーとなります。

8-4　切り取り

選択されている行の状態にかかわらず、選択されていた行は全てメイン画面から削除され、そのデータは全てクリップボードに移動します。

仕様：おしゃべり中はボタンが薄くなって機能しないようになっています。

8-5　コピー

選択されている行の状態にかかわらず、選択されている行は全てクリップボードにコピーされます。

8-6　全て選択

全行選択されている状態以外ならば、1回押すと全行選択状態になります。
全行選択されている状態ならば、1回押すと選択行の無い状態になります。

8-7　ファイルのドロップ

エクスプローラー等でファイル選択し、マウスのボタンを押たままの状態でこのアプリ上でマウスのボタンを離す(ドロップ)動作です。

・ドロップされたファイルが1個の場合

① メイン画面に1行も英文が表示されていない場合。
　→　ファイルの中の英文が表示されます。

② メイン画面に英文が表示されている場合で、かつその英文が編集されていない場合。
　→　元の英文は削除され、ドロップされたファイルの中の英文が表示されます。

③ メイン画面に英文が表示されている場合で、かつその英文が編集されていた場合。
　→　編集された英文の保存処理を問われ、それを処理した後、
　　ドロップされたファイルの中の英文が表示されます。

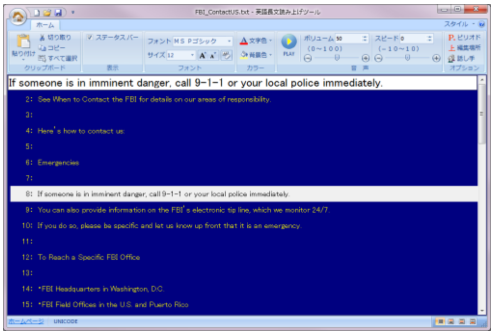
・ドロップされたファイルが複数の場合　→　エラーとなります。

8-8　行編集

マウスで行をダブルクリック(複数選択時でも、ダブルクリックされた行が対象となります)、もしくは1行のみ選択して“F2”キーを押すと、その行の編集モードに切り替わります。
編集する場所は、画面の上か下かを選択できます。(10－2参照。)
右図は上段で8行目を編集中の様子です。

編集モードで“Enter”キーを押すと変更され、通常モードに戻ります。

編集モードで“Esc”キーを押すと変更されずに、通常モードに戻ります。



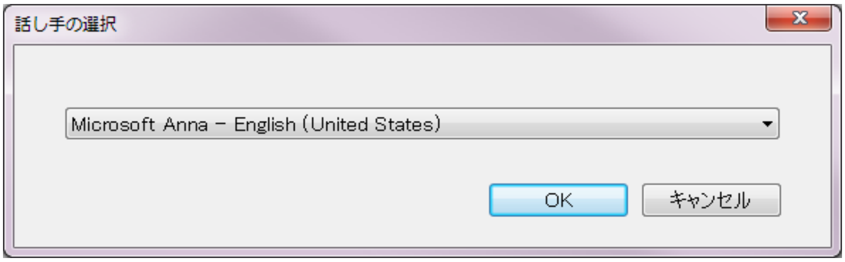
9. おしゃべり

メイン画面に表示されている英語文章を読み上げることを、ここでは"おしゃべり"と言うことにします。

9-1　仕様

おしゃべりは1行単位です。1行の途中でおしゃべりを止めることはできません。

おしゃべりをする人(ここでは"話し手"と言います)はパソコンの環境によって異なります。
オプションパネル内の「話し手」ボタンをクリックして下さい。(6－1の⑩番参照。)
次の選択窓が出現し、話し手を選択できます。Windows 8 ならば、標準で2人います。



最初のインストールでは、話し手は決定されていません。おしゃべりできそうな人を勝手に選択しておしゃべりさせています。おしゃべり可能な人が何人もいる様なOSの環境では、適切な人を選択しておしゃべりをさせて下さい。新しいOSの方が流暢におしゃべりをしてくれる人がいるようです。

また、おしゃべりをしてくれる人を追加することも出来ます。ここでは割愛します。

9-2　おしゃべりのさせ方

音声パネル内の"PLAY"ボタン(ここではおしゃべりボタンと言うことにします)をクリックする毎におしゃべりをさせたり止めたりできます。下の図はボタンの全ての種類です。

9-3　おしゃべりの開始

選択行が無い状態でおしゃべりをさせた場合は、1行目から順に最終行まで進みます。
選択行がある場合は、選択されている行のみ、番号の若い順におしゃべりをします。
選択行は、連続しているかどうかは関係ありません。

おしゃべりが開始すると、マウスやキーボードの操作によって選択行が変化しますが、おしゃべりボタンを押した時点で選択されていた行に対してのみおしゃべりを行います。

ヒント：全部はおしゃべりさせたくはないのだが、しゃべらせたい部分がほとんどの場合、
一度、"全て選択"にて全選択し、不必要な部分を"Ctrl"や"Shift"キーを用いながら
マウスで範囲を削除していく。

9-4 おしゃべりの停止

おしゃべりする最終行まで達すると、自動的におしゃべりは終わります。

“STOP”に変化したおしゃべりボタンを押すと、1行をしゃべり終えてから終わります。

9-5 おしゃべりの一時停止

おしゃべり中に、現在おしゃべりをしている行よりも若い番号の行に選択マークが付いている場合、おしゃべりボタンは“PAUSE”に変わります。この状態で、おしゃべりを停止、もしくは最終行までさせ、再びおしゃべりを再開させると、選択されていた行からおしゃべりを再開します。

9-6 おしゃべりの画面表示

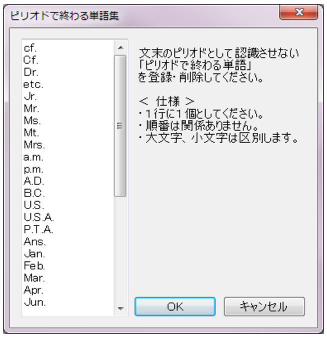
初期状態では、自由な場所を表示するモードとなっており、おしゃべりの行がメイン画面からはみ出す場合があります。そのような時には、右下(6－1の⑭番参照。)のアイコンよりおしゃべりしている行をメイン画面の中央に表示し続けることができます。

ただし、先頭の数行と最終の数行は、中央に来ない場合があります。

10.オプション

10−1　ピリオド

メイン画面に表示させる英文は、1文で分けていますが、ピリオドで1文終了と判断しています。しかし、省略表示のためのピリオドも英文にはあるので、その箇所で1文だと判断したくない時もあります。そういったピリオドで終わる単語を登録又は削除する機能です。
初期状態で既に登録されていますが、必要に応じて御自由に登録・削除して下さい。



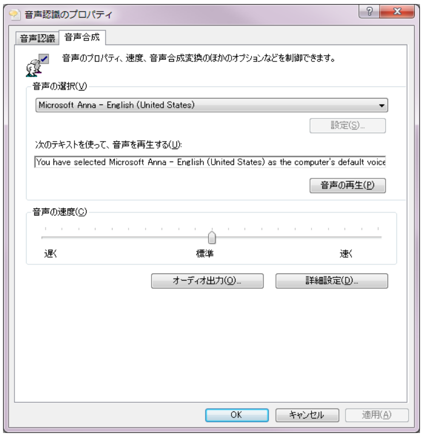
10−2　編集場所

選択行は編集可能です。(8−8参照。)その時に利用する場所を指定するボタンです。
“上”と表示されている場合は、メイン画面の最上段が編集場所となります。
“下”と表示されている場合は、メイン画面の最下段が編集場所となります。
ボタンを押す毎に上下切り替わります。

10−3　話し手

おしゃべりをする人を切り替える窓を出現させます。(9−1参照。)
Windows XP, Vista, 7, 8 の全てに、標準状態で1人は話し手がいます。
ユーザーが後から話し手の追加を行うことができます。

その方法はOSレベルの話なので、ここでは割愛します。
右にヒントの画像を掲載しておきます。

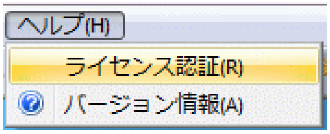


11.ライセンス認証（EnglishSpeech 本体）

このツールは、インストールしてから30日間は無料で全機能が使用できます。
それ以上利用継続したい方は、ライセンスキーを購入し、入力する必要があります。
(http://www7b.biglobe.ne.jp/~educa/Mason/EnglishSpeech/license.html 参照)

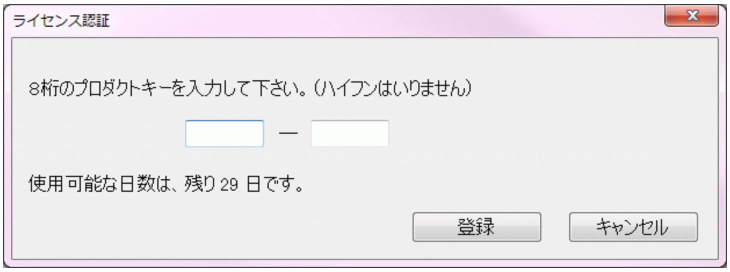
このツールをアンインストールし、再インストールしても、使用期限はリセットされませんので
お気を付け下さい。

11-1 認証方法



画面ではプロダクトキーとなっていますが、
ライセンスキーと同じ物として扱って下さい。

・[ヘルプ]-[ライセンス認証]
以下の画面が出現し、ライセンスキーを入力するモードになります。
ライセンスキーは 4桁-4桁 の合計8桁の文字から成ります。
入力する窓が2つあるので、4桁づつ入力してください。



ライセンス認証が成功すると次の画面になり、入力したライセンスキーの一部が
表示されるようになります。
一度、ライセンス認証が完了すれば、アンインストールしない限り、
再度入力の必要性はありません。

アンインストールしない限り、ライセンスキーは必要ないのですが、
再インストール時に、ライセンスキーの入力の必要性がありますので、
購入したライセンスキーは大切に保管しておいてください。

11-2　使用期限切れ

ライセンス認証を行わずに使用し続けていると、起動時に以下の警告窓が出てきて、OKボタンを押すと、ライセンス認証の画面になります。

そこで、認証完了しなければ、毎回起動時に先の画面が出てきて使用継続不可の状態になります。

認証完了すれば、以後、使用期限無しの状態で使用可能となります。

11-3　ライセンス購入方法

以下の方法がございます。(2013/01/01現在)

① ベクターシェアレジを利用 (ベクター作品番号:SR******)
https://sw.vector.co.jp/swreg/detail.info?srno=SR******
からお申し込みください。

② 銀行振込を利用
http://www7b.biglobe.ne.jp/~educa/Mason/EnglishSpeech/license_bank.html
を参照してください。

※なお、振込手数料はお客様の方でご負担くださいますようお願いします。

12.備考

● 著作権
このソフトウェアと付属物の著作権は educa が保有します。
無断で、複製、改変、再配布、転載、第三者へのライセンスキーの開示を禁じます。

● 免責事項
このソフトウェアと付属物を使用したことにより生じたいかなる損害も、補償の義務が無いものとします。

このプログラムは VisualStudio 2010 の C++ で作成されています。

不具合や問題等がございましたら、下記まで連絡をお願いします。
また、ご意見ご要望等も承っております。

■連絡先
作者への連絡はEメールでお願いします。
E-Mail: educa@kbd.biglobe.ne.jp
URL: http://www7b.biglobe.ne.jp/~educa/Mason/index.html
http://www7b.biglobe.ne.jp/~educa/Mason/EnglishSpeech/index.html

---